



1月3日に出発

# 沖縄研修旅行

## 春は3コース

### 全修協 地区会議で決る

(財)全修協の地区会議は十月二十四日東北、同二十七日関東、同三十一日東海・北陸、十一月四日九州、同十六日中国にてそれぞれ開催され、各地区とも山本理事長のあいさつ、白瀬事務局長の経過報告について協議事項として第一号議案「昭和四十八年度研修旅行の実施計画」①四十七年度研修旅行の総括②四十八年度研修旅行実施計画案策定の基本③

夏は二コースのほかに日教組の第十次教育事情視察団や韓蘭史跡研修旅行など多彩なコースが予定されている。冬季の沖縄コースはつぎの通り。

【定員】各四十名。  
【会費】東京八千八百円、大阪六千円、福岡五千二百円

【コース】第一日(一月三日)那覇(自由行動)①那覇空港(水)  
②東京(九〇〇)①那覇(一四〇)②大阪(二一〇)③那覇(三〇五)④福岡(一四〇)⑤那覇(五三五)  
⑥那覇⑦那覇⑧那覇⑨那覇⑩那覇⑪那覇⑫那覇⑬那覇⑭那覇⑮那覇⑯那覇⑰那覇⑱那覇⑲那覇⑳那覇㉑那覇㉒那覇㉓那覇㉔那覇㉕那覇㉖那覇㉗那覇㉘那覇㉙那覇㉚那覇㉛那覇㉜那覇㉝那覇㉞那覇㉟那覇㊱那覇㊲那覇㊳那覇㊴那覇㊵那覇㊶那覇㊷那覇㊸那覇㊹那覇㊺那覇

## 推薦に嶋根、三橋氏

### 研修旅行写真コンクール

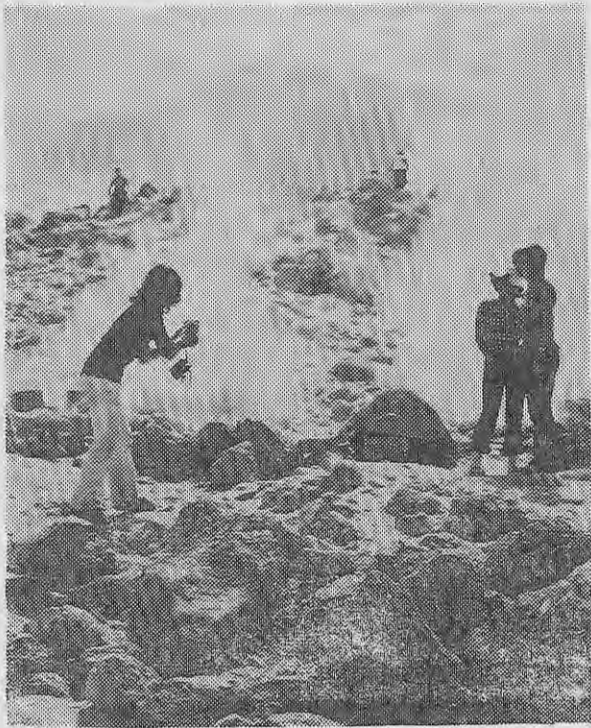
#### 北海道 中野、山田氏が獲得

本年度教職員研修旅行の写真コンクールはカラー三百九十九点、白黒三百一十一点の計六百十一点に達し、昨年度を上回る好成績を示した。審査員会で数時間にわたる審査の結果、推せん(二名)特選(二名)入選(四名)佳作(三十名)北海道知事賞(二名)カラー、白黒ともを次のとおり決定した。(敬称略)

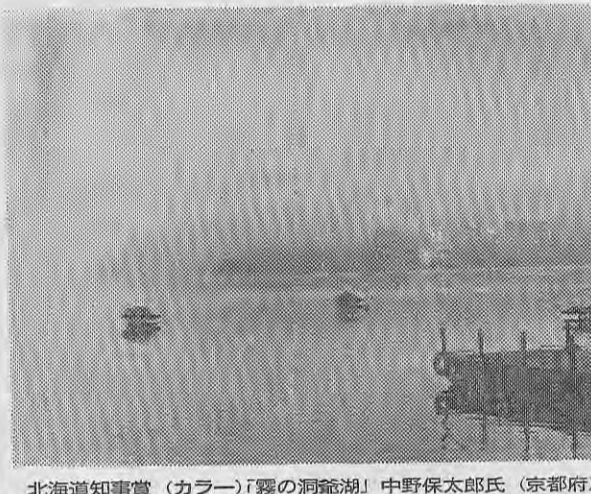
北海道知事賞 (白黒)「記念撮影」山田照夫氏(愛知県)

カラーの部  
▽推せん  
「霧の山頂」嶋根久(茨城県久慈郡金砂郷村米・太田一高)  
「尾瀬の朝」山下政義(京都府舞鶴市宇市境(〇))  
▽入選  
「上瀬」清水義弘(北海道夕張)

白黒の部  
▽推せん  
「羊が丘」岡田美恵子(東京都荒川区東尾久五八二一)  
▽佳作  
「霧の洞爺湖」中野保太郎(京都府福知山市北湖(南陵中))



北海道知事賞 (白黒)「記念撮影」山田照夫氏(愛知県)



北海道知事賞 (カラー)「霧の洞爺湖」中野保太郎氏(京都府)

【コース】第二日(一月三日)那覇(自由行動)①那覇空港(水)  
②東京(九〇〇)①那覇(一四〇)②大阪(二一〇)③那覇(三〇五)④福岡(一四〇)⑤那覇(五三五)  
⑥那覇⑦那覇⑧那覇⑨那覇⑩那覇⑪那覇⑫那覇⑬那覇⑭那覇⑮那覇⑯那覇⑰那覇⑱那覇⑲那覇⑳那覇㉑那覇㉒那覇㉓那覇㉔那覇㉕那覇㉖那覇㉗那覇㉘那覇㉙那覇㉚那覇㉛那覇㉜那覇㉝那覇㉞那覇㉟那覇㊱那覇㊲那覇㊳那覇㊴那覇㊵那覇㊶那覇㊷那覇㊸那覇㊹那覇㊺那覇



応募作品が多かったのは、やはりメインコースであるためであろうが、この広大な地域を被写体とするには、いろいろの注意が必要である。

まず、何をどう撮るか、いかえれば、いかにポイントをとるかまえることである。また、晴天ばかりでなく、あらゆる天候の場合を考慮することも必要であって、とくに曇天のときの露出は研究を要する。

ポイント・レットのところが、記念写真的な作品が相当見受けられたが、これらは必ずしも悪くはないし、それが徹底的に記念写真であればよい。要するに中途半端な作品は不可といいたい。

応募作品は規定以外のもの、たとえば「キャビネ以上」となっているのに、サービス判などがたくさんあった。審査のうえで困難であるし、作品も映えないため、ぜひ規定を守っていただきたい。また裏面には私製でもよいから必ず応募票を貼ること。直接ペンなどで書いてあるのはいけない。

概してカラーよりも白黒作品のほうがカラー・アングルにかけてはすぐれたものが多かった。またトレミングについては、さらによいものになった。たまたま思われる作品もあつたが、自分で引伸しの作業をせず、写真屋にまかすのが実情だからいたしかたなかった。

印刷紙は二写を使ったものが多かったが、香の少ないものほどソフトに任るので覚えておいたほうが便利と思う。

## 白黒の部

### 「羊が丘」岡田美恵子氏

「羊が丘」岡田美恵子氏。この作品は、羊が丘の風景を捉え、静かな雰囲気を表現している。羊の姿や丘の起伏が、白黒のコントラストによってよく表現されている。

## カラーの部

### 「霧の山頂」嶋根久氏

「霧の山頂」嶋根久氏。霧が山頂を覆い、神秘的な雰囲気を醸成している。光と影のコントラストが、霧の質感をよく表現している。

## 総評

「北海道コース」参加者からの総評は、研修旅行の思い出が深く、自然の美しさに感動したという声が多く聞かれた。また、写真コンクールの結果も、多くの作品が賞を受賞し、参加者の技術向上に貢献したと評価されている。

# 豪華フェリーで思い出の修学旅行に!

●船舶概要 旅客 594人  
設備 冷暖房完備、レストラン、ラウンジ、ゲームコーナー、売店、浴室、公衆電話、VTR等

48年3月より就航  
新門司 瀬戸内航路14時間 大阪(南港)  
黒瀬航路20時間 四日市 名古屋

就航中

**名門カーフェリー**

本社 京都市中京区新町通四条上ル ☎075(221)7747-8

名古屋事務所 ☎052(331)0481-3 四日市事務所 ☎0593(50)5041(53)5355 新門司港事務所 ☎093(481)1730-7 小倉営業所 ☎097(551)0782(0793) 東京事務所 ☎03(212)1546-7 川崎営業所 ☎044(32)3728